

川辺地区合併協定調印式

11月7日に新市誕生へ



合併協定書を手に写真に納まる各首長ら
＝加世田市のふれあいかせでで

加世田市、笠沙・大浦町からなる川辺地区合併協議会（会長・川野信男）は24日、加世田市のふれあいかせで、新市誕生に向けた合併協定調印式を、大勢の関係者が見守るなかで行った。

調印式には、各首長をはじめ同協議会、各地自治体代表、また来賓として伊藤祐一郎県知事、地元選出の本坊輝男県議と衆・参両議員（代理）、管内地域住民らが出席。冒頭、合併協定調印に至るまでの経緯が報告された後、全員が見守る中、5市町の首長が次々に協定書にサイン及び押印。次いで、特別立会人でもある伊藤知事が署名し、

「南さつま市」としての5市町による合併協定が結ばれた。

署名後、挨拶に立った川野会長が「今日を迎えられたのは多くの関係者の方々のおかげ。南さつま市まちづくり計画にのっとり、自然・人・文化の交流を図れる魅力的なまちづくりに努めていきたい」と合併に対する決意を述べた。

続いて、来賓を代表して伊藤知事と本坊県議が「本県では、今回の川辺地区合併協議会が16番目の調印を終えた。これからも、農業・漁業それぞれの地域特性を生かした新しいまちづくりに努めていきたいと思います。」「この日を迎えるまでには、極めて厳しい道のりであったと思う。これからは互いに手をとりあえて、一人は皆のために、皆は一

県産廃協会医療廃棄物部会

県に周知徹底要望へ



医療廃棄物への税導入について議論した部会
＝鹿児島市のアクアガーデンホテル福丸で

県産業廃棄物協会医療廃棄物部会（下田勝利部会長）は23日、鹿児島市のアクアガーデンホテル福丸で第2回医療廃棄物部会を開き、4月1日から導入される産業廃棄物税に對して現状と今後の対策について活発に意見交換を行った。

冒頭、下田部会長が「まもなく税が導入されるのを覆すのは難しい。ただ医療廃棄物に対する廃税の矛盾も多く、是正してほしい点をこれから関係者らから出た、来年1月の完成に向けて工事の安全を祈願した。

新種子島空港ターミナルビル

工事の安全を祈願

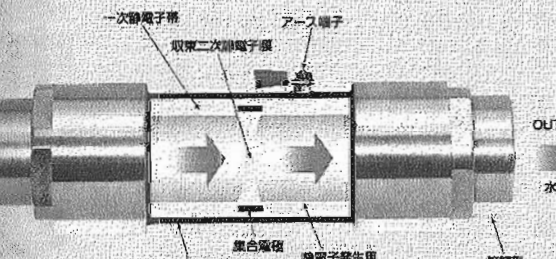
18年3月に開港する新種子島空港のターミナルビル建設起工式が22日、熊毛郡中種子町の現場で行われた。約70人の行政、関係者らが出席、来年1月の完成に向けて工事の安全を祈願した。

神事では、祝詞奏上等に続いて、地鎮の儀では種子島空港ターミナルビル（地元市2町、県民間出資）の川下三業社長（中種子町長）が鎌入れ、設計監理の中野雅敏（クリエイト山本設計室）所長が鋤入れ、施工業者を代表し米盛庄司米盛建設（株）社長が杭打ちを力強く行った。次いで、関係者が神前に玉を捧げ、工事の無事故無災害を祈願した。建設に当たって、川下社長は「島民が利用しやすいターミナルにしていきたい」と話した。

イオン活水器「スピリオン」

脅威の浄水効果を発揮

ハウジング大木
ン化させることによって水冷システムでのスケール付着やスライムを防止する静電場活水器「スピリオン」の代理店として公共施設から工業用の水処理の販売を展開、無公害水処理器でラニンングコストの低減につながったと好評を博している。特に工業用では全国シェアの7割から8割程度を占める。カルシウムやマグネシウム、シリカ濃度の高い本県においては学校等の公共施設や老人ホームなどの施設に設置することで水質改善が



実績を有している。また、スライムが付着することでレジオネラ菌などが発症するケース等も多く、皮膚が敏感な高齢者などが居住する老人ホーム等の施設でも注文が多い。今後、マンションの新築や公共施設のほか、一般住宅などでも普及が進むものと思われる。

なお、日本をはじめ、米国や欧州などでも特許を取得しているほか、日本水道協会の認証登録を得た、信頼される商品。環境問題が叫ばれる今日にあっては、薬を使用せず、外部エネルギーが不要で、メンテナンスコストが低く、ハウジング大木



無事故無災害を祈念する関係者
＝中種子町の現地で

同事業は、同町増田2692-64の敷地に、RC造平屋建て1516平方メートルの旅客ターミナルビルを建設するもので、施

安心システムで21世紀の豊さを追求する
株南栄技研
鹿児島市中山町1406-1 (099) 260-6100
鹿児島市西光寺前田118-10 (099) 43-2972
川内市高城町1688 (099) 27-1996
鹿屋市東郷3172-6 (099) 40-9360
鹿児島県高岡町大字花見山1720-18 (099) 30-9680
八代市上片町1351-1 (099) 35-4878
都城市都北町7411 (099) 38-6120
東臼杵郡門川町大字加草字深迫616-1 (099) 63-5458
鹿本郡木町大字甲子池上2074 (099) 273-3666

曳家(ひきや)工事・解体工事
土木一式工事・建築一式工事
株式会社 大城
県知事許可(特-12)第4087号
本社 鹿児島市宇宿町1955-1 (099) 275-3600代
下荒田事務所 鹿児島市下荒田1-18-2 (099) 254-3938番

きたい。皆さんのご意見を賜りたい」と挨拶。協議では、下田部会長から県内のみならず九州各県の現況について報告がなされた後、出席者からは1市当り最終処分場の搬入10000円、焼却施設へ8000円が課税される産廃税の仕組みについて「制度自体が大量廃棄されることを前提に設定されている」「排出事業者となる各医療機関から出される医療廃棄物は重量が少ない」「何円何銭という税を徴収するために多大な経費をかけるまでしなければならぬのか」などといった矛盾点について意見が出された。

県に對しては「周知徹底を図るのはわれわれの仕事ではなく行政の役目。広報紙でのPRだけでなく、コミニカルなどを通して徹底した周知を図ってほしい」「早急に県内の医療関係者に対して産廃税の仕組みを説明してほしい」など意見が多数出され、県産業廃棄物協会事務局を通して要望することを確認した。

ストランや売店、管理事務室などを設置する。完成予定は18年1月下旬。総事業費は約4億3000万円。

施工業者等は次の通り。
設計監理(株)クリエイト山本設計室▽建築本体(A工区) 久永建設(株)・(南)山建設(株)・(南)中島組JV、同(B工区) 米盛建設(株)・藤田建設(株)・(南)和人組JV▽電気設備(株)九電工、空調設備(株)テクノ冷熱▽給排水衛生設備 新栄設備工業(株)